

〔研究ノート〕

ニュージーランド領トケラウの刑事司法

永 田 憲 史

- 一、はじめに
- 二、概要
- 三、法状況
- 四、刑事裁判制度
- 五、刑事法

一、はじめに

イギリス領ピトケアン (Pitcairn)、ニュージーランド領クック諸島 (Cook Islands)、ニウエ (Niue) に続いて、⁽¹⁾ ニュージーランドの自主行政 (self-administered) 地域であるトケラウ (Tokelau) の刑事司法制度をまとめることとした。

今回も、条文については、南太平洋大学 (The University of the South Pacific) の人文科学及び法学部 (Faculty of Arts and Law) の法学科 (School of Law) の関連施設である、太平洋島嶼法情報研究所 (Pacific Islands Legal Information Institute; Paelli) がインターネット上で提供しているデータベース (Paelli Databases) を利用した。⁽²⁾

二、概 要

トケラウは、⁽³⁾クック諸島の西方にあり、北のキリバス共和国 (Republic of Kiribati)、西のツバル (Tuvalu)、南のサモア独立国 (Independent State of Samoa) とアメリカ合衆国領サモア (American Samoa) に囲まれた、アタフー (Atafu)、ヌークノーノ (Nukunono)、ファカオフォー (Fakaofu) の三つの島からなるニュージールランドの自主行政地域である。面積は約一〇平方キロメートルで、人口は約一四〇〇人である。人口の約二倍以上のトケラウ出身者がニュージールランドなどで暮らしているといわれる。中心都市はアタフーである。

歴史を紐解くと、⁽⁴⁾この地域には、遅くとも紀元後一〇〇〇年ごろには、サモア方面から人々が到達したとされる。ヨーロッパ人が初めてトケラウの島々を確認したのは、一七六五年のことであり、一九世紀後半になるとプロテスタントの布教団が進出した。

イギリスは、太平洋諸島民保護法 (Pacific Islanders Protection Acts) と海外支配法 (Foreign Jurisdiction Acts) に基づき、一八七七年から実効支配を始め、一八八九年には正式に保護領とした。一九一六年に今日のキリバス共和国とツバルにあたるギルバート諸島 (Gilbert Islands) 及びエリス諸島 (Ellice Islands) 植民地に編入されたものの、一九二五年には分離された。一九二六年、行政権がニュージールランドに委譲され、立法権は、ニュージールランドの支配下にあった西サモア統治官 (Administrator of Western Samoa) に委任された。

一九四六年、ニュージールランドが統治する非独立地域として、国際連合の非自治領 (non-self-governing territory) のリストに含まれた。その後、ニュージールランドの一九四八年トケラウ法 (Tokelau Act 1948)⁽⁵⁾ により、一九四九年にニュージールランドの一部となり、独立した立法権や行政権を有しないことが明文化された。一九六二年になると、ニュージールランドの同意を得て、植民地諸国及び人民に対する独立付与に関する国際連合宣言 (United Nations Declaration on the Granting of Independence to Colonial Countries and Peoples) により監督される地域のリストに含まれた。一九八〇年、トケラウ周辺のニュージールランドとア

メリカ合衆国領サモアとの境界を定めるトケヘガ条約 (Treaty of Tokelaga) が署名された。一九八二年、三島各々で選挙により選出された代表者の会議であるジュネラル・フォノ (General Fono) が明文化され、立法と財政を与えることとなった。行政機能は、三つの島の各々の村の村議会 (Village Council) 議長、すなわち長老であるファイビュレ (Faipule) と、各々の村の役人であるピュレスク (Pulenuku) の計六名からなるトケラウ政府準備委員会 (Council for the Ongoing Government of Tokelau) が担っている。憲法の起草と自治政府の設立を目指しており、ニュージーランドとの自由連合を志向し、二〇〇六年に住民投票が行なわれたが、ニュージーランドにとどまることが選択された。ニュージーランドから独立していないため、国家元首はイギリスのエリザベス二世 (Queen Elizabeth II) であり、総督 (Governor General) はニュージーランド総督である。

三、法 状 況

法源として、第一に、ニュージーランド議会で制定されたトケラウで適用される制定法がある。中核となっているのは、ニュージーランドの一九四八年トケラウ法であり、事実上、トケラウの憲法に近い。

第二に、ニュージーランドで制定された規則 (regulation) がある。規則には、トケラウのために特別に制定される規則と、他地域で適用される法令をトケラウで適用するための規則の二類型がある。

第三に、トケラウがニュージーランドの一部とされた時点で有効であった法令がある。もっとも、事実上、大半は機能していないとされる。

第四に、コモン・ロー (common law) がある。ニュージーランドが植民地となった一八四〇年一月一四日にイングランドで有効であった法令がこれにあたる。

第五に、三つの島の各々の村で長老たるファイビュレが定めた村令 (council order) がある。この立法権限は、一九八六年トケラウ村落共同体規則 (Tokelau Village Incorporation Regulations 1986) により認められている。

第六に、慣習法がある。トケラウでは、慣習の持つ意味は大きいとされる。

トケラウには法曹に関する規定はなく、法曹として活動している者はいない。国際連合の財政支援を受け、トケラウ法プロジェクト (Tokelau Law Project) が立法支援などを行なっている。

四、刑事裁判制度

刑事裁判は、従来、村裁判所 (Village Court)、ニュージーランドの高等裁判所 (High Court)、ニュージーランドの上訴裁判所 (Court of Appeal) の三審制であつた。⁽⁷⁾しかし、多くの事件が長老会議であるタウブレガ (Taupulega) により取扱われ、法定の刑事裁判制度が利用されることが少なかったため、トケラウの実情に合わせて、二〇〇三年犯罪、手続及び証拠規則 (Crime, Procedure and Evidence Rules 2003) により、以下のように大きく改正された。

通常第一審とされるのが、委員裁判所 (Commissioner's court) である。⁽⁸⁾三島各々に置かれている。村の長老たるファイビューレが委員 (Commissioner) として審理する。また、長老会議であるタウブレガの構成員を在席させることができる。法定刑が三月以下の拘禁刑 (imprisonment) 又は一五〇ニュージランドドル (NZD) (約一二〇〇〇円。一NZD八〇円で換算。以下同じ) 以下の罰金刑 (fine) とされている犯罪に関わる事件と、法定刑が一年以下の拘禁刑又は一五〇NZD (約一二〇〇〇円) を超える罰金刑とされている犯罪で委員が審理する裁判所を指示しなかった事件に関わる事件の管轄を有する。委員裁判所では、一年以下の拘禁刑、一〇〇〇NZD (約八万円) 以下の罰金刑、社会奉仕作業 (community work)、犯罪被害者の損失又は損害に対する一五〇NZD (約一二〇〇〇円) 以下の被害弁償の支払 (payment of compensation)、犯罪の目的たる財産の原状回復 (restoration to its original condition)、窃取した金銭の返還 (repayment)、財産没収 (forfeit)、犯罪に関連した資格などの取消し、⁽⁹⁾ 謹責 (reprimand) など⁽⁹⁾が刑事制裁として科される。

委員裁判所の一部の軽微事件の上訴審を行なうのが、上訴委員会 (appeal committee) である。⁽¹⁰⁾上訴委員会はタウブレガが任命

した三人以上の上訴委員で構成される。上訴委員会の判断にさらに上訴することはできない。

上訴委員会で審理されない非軽微事件についての委員裁判所の上訴審と、委員裁判所の管轄外の事件に関する第一審を行なうのが、高等裁判所 (High Court) である。⁽¹¹⁾ 高等裁判所判事が一人で審理を行なう。トケラウ外に設置されることもあり、その場合、被告人は移送される。

高等裁判所からの上訴審を行なうのが、ニュージーランドの上訴裁判所 (Court of Appeal) である。⁽¹²⁾ ニュージーランド人の判事が審理を行なう。

五、刑 事 法

一九六六年ニウエ法を範にして作られた一九七五年トケラウ犯罪規則 (Tokelau Crime Regulations 1975) が刑事法の中核である。⁽¹³⁾ もっとも、トケラウでは、前述のように、長老会議であるタウブレガにおいて、紛争が取扱われることが多く、この規則が適用されることは少なかった。

一九七五年トケラウ犯罪規則は、欧米型の標準的な刑事法と言えるが、トケラウの道德や慣習を取り込んだものではない。そこで、一九八五年に立法議会にあたるジエネラル・フォノは、包括的な刑事法である犯罪、手続及び証拠規則 (Crime, Procedure and Evidence Regulations) の草案を作成した。この法案は、二〇〇三年犯罪、手続及び証拠規則として結実した。そこでは、未婚者との性行為を犯罪とすることが規定されている。⁽¹⁴⁾ また、魔術 (witchcraft) や占いを行なうも犯罪とされている。⁽¹⁵⁾ 刑事制裁に関して、拘禁刑や罰金刑を社会奉仕作業に代替できると規定されている。⁽¹⁶⁾ 拘禁刑が科された場合、ニュージーランドの刑務所 (prison) で服役させられることがありうる。⁽¹⁷⁾

(1) 拙稿「イギリス領ピトケアン刑事司法」関西大学法学論集五七卷一号 (二〇〇七) 一七二頁以下、同「ニュージーランドクック諸島の刑事司法」関西大学法学論集五七卷二号 (二〇〇七) 九九頁以下、同「ニュージーランド領ニウエの刑事

司法」関西大学法学論集五八巻二号(二〇〇八)一一〇頁以下。

- (2) <http://pacii.org.vu/>. *ニラ* サイト *ニラ* <http://www.pacii.org/>.
- (3) 最新の数値 *ニラ* アメリカ合衆国の中央捜査局 (Central Intelligence Agency; CIA) の世界の現状資料 (The World Factbook) *ニラ* <http://www.cia.gov/cia/publications/factbook/geos/tl.html>.
- (4) *ニラ* *ニラ* Angelo, A., Tokelau, In: Ntunmy, M. A. (General Ed.), *South Pacific Islands Legal Systems* (University of Hawaii Press, 1993), pp. 296, 296-298; アンソニー・H・アンジェロ著・浅香吉幹訳「トケラウに憲法は——自治、自治、非植民地化。太平洋の小地域の経験と課題」ジュリスト一〇七八号(一九九五)九四頁以下。
- (5) 1948 No 24 (NZ).
- (6) *ニラ* *ニラ* Angelo, *supra* note 4, at 298-299.
- (7) *ニラ* *ニラ* Angelo, *supra* note 4, at 301, 307; Care, J. C. et al., *Introduction to South Pacific Law Second edition* (Routledge-Cavendish, 2007), pp. 375-377.
- (8) ss 83, 84, 112 Crime, Procedure and Evidence Rules 2003.
- (9) s. 136 (4)-(6) Crime, Procedure and Evidence Rules 2003.
- (10) s. 140 Crime, Procedure and Evidence Rules 2003.
- (11) ss 129, 135, 141 Crime, Procedure and Evidence Rules 2003.
- (12) s. 4 Tokelau Amendment Act 1986 (NZ) (1986 No 31).
- (13) *ニラ* *ニラ* Angelo, *supra* note 4, at 307.
- (14) s. 22 Crime, Procedure and Evidence Rules 2003.
- (15) s. 65 Crime, Procedure and Evidence Rules 2003.
- (16) s. 136 (2), SCHEDULE 3 Crime, Procedure and Evidence Rules 2003.
- (17) s. 141 Crime, Procedure and Evidence Rules 2003.